

【広島市消費者物価指数】

1 平成22年5月の動向

- 広島市総合指数（99.9）は前月比で2か月ぶりに上昇。前年同月比は14か月連続で下落。
- 生鮮食品を除く総合指数（99.8）は前月比で2か月ぶりに上昇（0.1）。前年同月比は14か月連続で下落。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（97.6）は前月と同水準。前年同月比は14か月連続で下落。

2 総合指数、生鮮食品を除く総合指数、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	99.9	0.2	▲1.3
生鮮食品を除く総合指数	99.8	0.1	▲1.4
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	97.6	0.0	▲1.7

3 前月からの動き

～交通・通信、食料が上昇。住居が下落。～

(1) 10大費目の動き

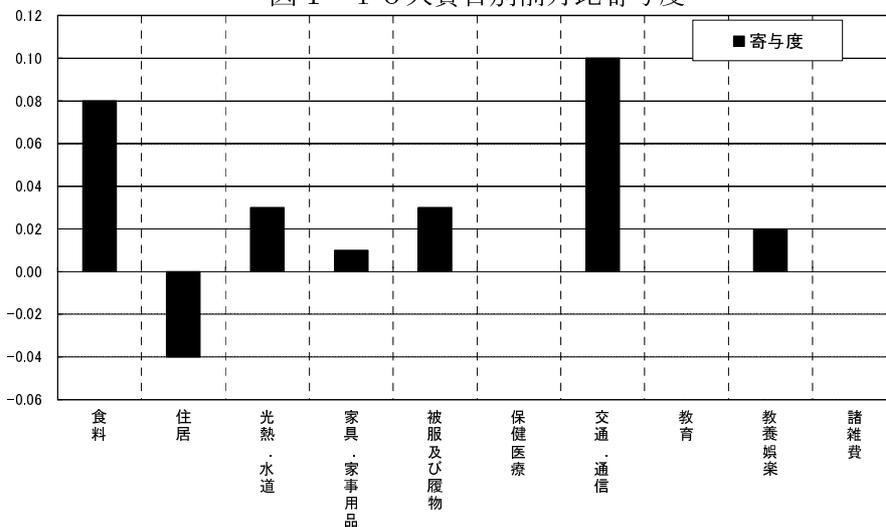
	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	99.9	103.3	100.6	104.9	82.3	105.6	98.1	99.6	93.5	93.4	101.5
前月比 (%)	0.2	0.3	▲ 0.2	0.4	0.4	0.6	▲ 0.1	0.7	0.0	0.2	0.0
寄与度	0.2	0.08	▲ 0.04	0.03	0.01	0.03	0.00	0.10	0.00	0.02	0.00

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

交通・通信 : 自動車等関係費（前月比 1.2%, 寄与度 0.09）等

食料 : 果物（前月比 18.8%, 寄与度 0.14）等

図1 10大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度: 物価全体（総合）の上昇（下落）に、各費目がどれだけ影響したかを示したものの。本来、寄与度の合計は、総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目（寄与度順）

上 昇		下 落	
項 目（主な品目名）	前月比	項 目（主な品目名）	前月比
果物（りんご[ふじ] 等）	18.8%	野菜・海藻（トマト 等）	▲2.6%
自動車等関係費（ガソリン 等）	1.2%	家賃（公営家賃 等）	▲0.1%
油脂・調味料（ジャム 等）	2.1%	調理食品（うなぎかば焼き 等）	▲0.3%
洋服（婦人スーツ[春夏物] 等）	0.9%	菓子類（せんべい[うるち米粉] 等）	▲0.4%
家事用消耗品（台所用洗剤 等）	3.0%	家庭用耐久財（電気洗濯機[洗濯乾燥機] 等）	▲1.2%

4 前年同月からの動き

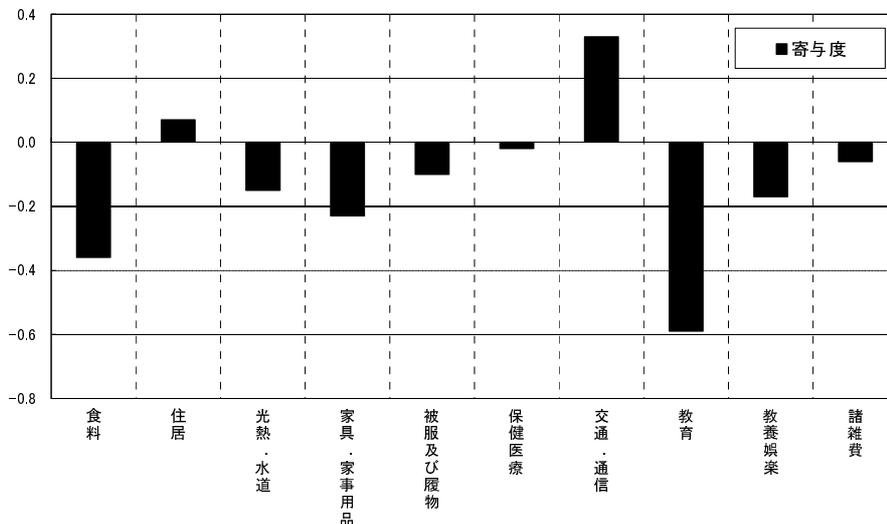
～教育が主な下落要因で、14か月連続の下落。交通・通信と住居は上昇～

(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	▲1.3	▲1.3	0.4	▲2.1	▲7.3	▲1.8	▲0.4	2.5	▲11.8	▲1.7	▲0.9
寄与度	▲1.3	▲0.36	0.07	▲0.15	▲0.23	▲0.10	▲0.02	0.33	▲0.59	▲0.17	▲0.06

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目
 教 育：授業料（前年同月比▲16.0%，寄与度▲0.58）等
 食 料：肉類（前年同月比▲7.3%，寄与度▲0.18）
 交 通・通 信：自動車等関係費（前年同月比 5.3%，寄与度 0.38）等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目（寄与度順）

上 昇		下 落	
費 目（主な品目名）	前年同月比	費 目（主な品目名）	前年同月比
自動車等関係費（ガソリン 等）	5.3%	授業料等（公立高校授業料 等）	▲16.0%
他の光熱（灯油）	25.7%	肉類（牛肉[国産] 等）	▲7.3%
家賃（持家の帰属家賃[木造中住宅]）	0.4%	電気代	▲5.4%
野菜・海藻（たまねぎ 等）	2.4%	室内装備品（カーテン 等）	▲24.5%
油脂調味料（乾燥スープ 等）	4.5%	教養娯楽用品（テレビ[薄型]等）	▲4.8%